



もしも、あなたが・・・

～がんを知らないとジャッジもチョイスもできない～

年間およそ90万人ががんと診断される現代。自分が、家族が、身近な人・職場の人ががんになった時どうすればいいのでしょうか。HTBのディレクターとして20年近く乳がんの取材を続け、自身も乳がんになり患し、『おっぱい2つとってみた がんと生きる、働く、伝える』を執筆した阿久津さんが、患者となって出会った女性たちと語り合います。

日時 2023年5月20日(土) 13:30-15:30(開場13:00)

会場 札幌市民交流プラザ1階 SCARTSコート 札幌市中央区北1条西1丁目
(札幌市図書・情報館に隣接)

定員 会場50名+オンライン(いずれも事前申込制) 受講料 **無料** 申込締切5月19日(金)17:00まで

下記QRコードからお申込みください。もしくは電話・メール(一般財団法人さっぽろ産業振興財団 011-820-3122/online@sec.or.jp)でお申込みください。取得した個人情報は本セミナー以外には一切使用しません。

セミナーのお申込み



講師 阿久津 友紀(あくつ ゆき)

HTB北海道テレビ 東京支社編成業務部長
1995年HTB入社。長年ピンクリボン活動や乳がん患者の取材を続ける。46歳で両側乳がんを患。取材者から乳がん当事者となり、自らの体験を発信、ドキュメンタリーを制作。国内外で評価を受ける。2022年に『おっぱい2つとってみた がんと生きる、働く、伝える』を出版。オットと2匹の保護猫と離れ、単身赴任中。国のがん対策推進協議会委員。



藤原 紗矢郁(ふじわら さやか) 株式会社北洋銀行 ローソ統括部 調査役

1977年生まれ。15年間にわたり人事部にて主に若手の人材育成・女性活躍推進に従事したのち、44歳で現部署に異動。異動から半年後に受けた人間ドックで乳がんが見つかり左胸全摘。退院後約1ヶ月の療養期間を経て職場復帰し約2年が経過、現在もホルモン治療中。夫、小学校4年生、1年生の娘の4人家族。

関谷 繭子(せきや まゆこ) 株式会社えにシテック デザイナー

1978年生まれ。42歳で乳がんになり患し左胸を部分切除。放射線治療を終えホルモン治療中。プログラミングの勉強会で出会った方々から誘われ、札幌のソフトウェア開発の会社へデザイナーとしてジョインして11年目。現在はフルリモート勤務で、主にWeb制作、たまに紙媒体やグッズ制作をお手伝い。



札幌市図書・情報館

連絡先/札幌市教育委員会中央図書館利用サービス課図書・情報館
〒060-0001 札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ2階
TEL.011-208-1113 FAX.011-208-1110
HP: <https://www.sapporo-community-plaza.jp/library.html>



主催/札幌市図書・情報館、公益財団法人札幌市芸術文化財団 共催/HTB北海道テレビ 後援/日本対がん協会

SAPPORO



さっぽろ市
02-503-22-451
R5-2-494